

毎日練習したスマッシュで 卓球全国大会に初出場

「初めての全国大会出場で
わくわくしました。ゲームで
は、相手のスマッシュを止め
るブロックも決められて良
かったです」と大会を振り返
るのは、柴田涼成くん（糸田
区・白旗小2年）。



柴田 涼成くん
Shibata Ryousei

〔糸田区〕

しばた りょうせい / 卓球選
手。白旗小2年、東熊本ジュ
ニア所属。小学1年生から卓
球を始め、今夏に県代表で全
日本卓球選手権大会に初出場。

4月に開催された県大会バ
ンビの部（1・2年生の部）
で4位に入賞して、7月に兵
庫県で開催された全農杯平成
29年度全日本卓球選手権大会
に初出場を果たした。
卓球との出会いは、母親が

プレイしていた卓球クラブに
体験で参加したのがはじまり。
祖母も卓球に親しむ影響を受
けて、ラケットでボールを打
つ楽しさに引き込まれ、小学
1年生のときにクラブに入会。
体操やスイミングなどにも以
前は取り組んでいたが、今で
は卓球の面白さに魅せられて、
熊本市東区にあるクラブ練習
場に平日は毎日通う。
クラブでは午後6時から午

後8時まで基礎練習やゲーム
に励んで連日約1,000球
以上は打ち込み、週末は各地
の大会に出場して腕を磨く卓
球漬けの日々。卓球台がない
自宅でもラケットを握り、
サーブの練習や壁打ちなどに
も楽しく取り組む。

「スマッシュをゲームで決
めることが好きです」と話す
柴田くんの卓球は、粘り強く
攻めるスタイル。目標とする
好きな選手は、世界で活躍す
る若手のホープ・張本智和選
手。「バックもフォアも上手
なところ」にあこがれる柴田
くんについて、「攻める気持
ちを試合で切らさずに、集中
を保って粘ってボールに向か
えば、もっと上手くなる」と、
コーチはアドバイスを送る。
初めて出場した全国の舞台
では、残念ながら予選リーグ
で敗退するも「サーブやドラ
イブなどをもっと練習して、
また全国大会に出てみたいで
す」と柴田くん。県大会突破
に向けて、鋭いステップと素
早いフォームで、打ち込まれ
たボールに向かってラケット
を強く振り切る。